

国際医療福祉大学だからできること⑦

07 活発な国際交流

国際貢献できる医療福祉専門職の養成を視野に入れ、多彩な協力研究や研修活動を行っています

本学では、学生たちがどこの国でも、どんな場所でも1人の人間として、また、自立した専門家として行動できる人になってほしいと考えています。そのために学内組織として国際部や国際交流センターを設置して、国際プロジェクトの企画・運営や海外情報の収集、中国、ベトナム、ミャンマーなどからの短期研修生の受け入れ、海外研修など、多彩な活動に積極的に取り組んでいます。



「どんな環境でも最善を尽くす」
医療人としての情熱を感じました。

カンボジア プンベン市、シェムリアップ市
カンボジア国立保健科学大学にて研修

医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科2年
池澤 実沙さん
茨城県立下館第二高等学校出身

カンボジアでは政府として医療にかけられる財源が少なく、どの現場も機器や衛生面において日本よりもかなり水準が低いと感じました。それでも、現地医療関係者の方々は皆「できることで最善を尽くす」「この国の医療をより良くしたい」という情熱を持って働いていて、とても刺激になりました。また、貧しい人が無料で医療を受けられる「プアガード」は、日本も見習える制度だと思います。

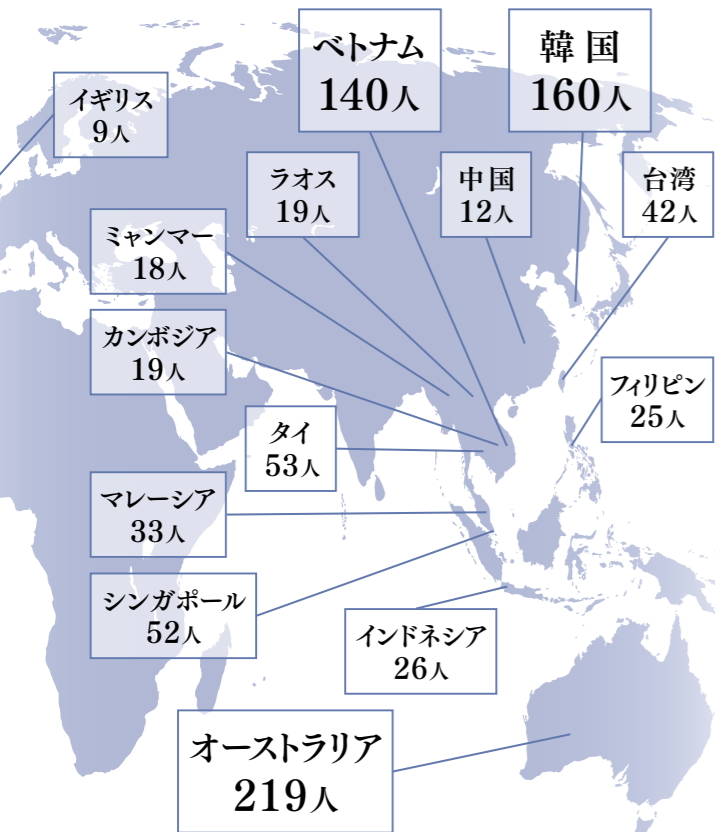


日本をモデルにした施設が多いことに、
誇りを感じました。

韓国 大田広域市
乙支大大学院にて研修

成田保健医療学部 理学療法学科2年
由井 裕人さん
千葉県中央学院高等学校出身

韓国はリハビリテーションなど日本をモデルにしている施設が多いことを知り、日本人として誇りに思いました。言語聴覚士の仕事の一部を作業療法士が担っていた部分は、改善したほうがよいと感じた点です。事前学修は役に立ちましたが、実際は想像と異なる部分もあって、自分の目で確かめることの大切さを再確認。考え方や文化の違いなどすべてが勉強になり、今後の成長につながると思いました。



2週間の海外研修プログラム

夏休みや春休みを利用して約2週間、海外研修(総合教育科目:海外保健福祉事情)を実施します。本学が学術交流協定を結ぶ約20の国や地域から研修先を選び、異なる文化や医療福祉を体験します。現地では医療スタッフの指導のもと、患者さんのケアの補助を行うなど海外の医療現場に触れるほか、国際人として外国の方との接し方を身につけられる貴重な機会となっています。

827人が世界の医療福祉現場を体験

(2017年度実績)

- 研修の一例(2017年度 マレーシア研修)
- | | | | |
|-----|---|------|-----------------------------|
| 1日目 | 現地到着 | 6日目 | リハビリテーションセンター、小児麻痺児童施設 訪問 |
| 2日目 | マネジメント&サイエンス大学のキャンパスツアー、シャー・アラム市内見学 | 7日目 | 病院(原住民族病院)、国立がんセンター 訪問 |
| 3日目 | 講義:マレーシア保健省によるマレーシアの医療制度について、学生交流(マレーシアの伝統舞踊) | 8日目 | 講義:マレーシアの福祉制度、学生交流(日本の伝統舞踊) |
| 4日目 | 世界遺産都市マラッカ見学 | 9日目 | 老人ホーム、児童施設 訪問 |
| 5日目 | 自主学習日 | 10日目 | 修了式、文化交流会(Tomodachi Hour) |
| | | 11日目 | 帰国 |

海外学術交流協定校・施設一覧 ※2018年3月時点

区分	国・地域	協定先
大学	アメリカ	フィラデルフィア科学大学メイズカレッジ
		コロラド大学デンバー校(看護学部)
		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ
		ピッツバーグ大学(医学部)
	オーストラリア	グリフィス大学
	ニュージーランド	オタゴ大学
	スペイン	アルカラ大学
	イギリス	イーストアングリア大学
	フランス	パリ第11大学(医学部)
	ハンガリー	センメルweis大学
	ロシア	国立モスクワ第一医科大学
	フィンランド	ヘルシンキ大学(医学部)
	ポーランド	ヴロツワフ医科大学
	台湾	元培医事科技大学
	タイ	マヒドン大学(公衆衛生学部)
	中国	クリスチャン大学
首都医科大学康復医学院		
中国科学院大学		
韓国	建陽大学校	
	仁済大学校	
	大邱韓医大学校	
	乙支大大学校	

区分	国・地域	協定先
大学	ミャンマー	国立ヤンゴン看護大学
		国立ヤンゴン第一医科大学
		国立ヤンゴン第二医科大学
		国立ヤンゴン医療技術大学
	ベトナム	ホーチミン市医科薬科大学
		国立ハノイ医科大学
	モンゴル	フエ医科薬科大学
	ラオス	モンゴル国立医科大学
	インドネシア	ラオス国立健康科学大学
	マレーシア	ウダヤナ大学
	マレーシア	マネージメント&サイエンス大学
	フィリピン	フィリピン大学マニラ校
カンボジア	カンボジア国立保健科学大学	
シンガポール	シンガポール工科大学	
中国	中国リハビリテーション研究センター	
機関	オーストラリア	TAFEクイーンズランド
	シンガポール	ナンヤンポリテクニク
病院	ベトナム	国立チョーライ病院
		国立バックマイ病院

このほか、ミャンマー国立リハビリテーション病院(ミャンマー)、マネージメント&サイエンス大学附属施設のパプティスト病院・ジャイン病院・MSラマイア病院(以上、インド)などでも実習を行う予定です。

お互いの国の良い点と課題を
発見できました。

マレーシア シャーアラム市
マネージメント&サイエンス大学(MSU)にて研修

福岡看護学部 看護学科3年
江崎 奈那さん
福岡県福岡海星女子学院高等学校出身

見学した病院では、患者さんをベッドから移動させる際に負担の少ない機械を使用していました。日本の病院では車椅子での移動が多いので、もっと日本でも取り入れてほしいと思いました。ただ、衛生面は不十分を感じる場面もあり、そこは日本の病院のほうが徹底されている気がしました。異文化を体験し、医療について国際的な面でも視野を広げることができました。



医療レベルの高い日本で学べる
ありがたさを、再認識しました。

フィリピン マニラ市
フィリピン大学にて研修

福岡保健医療学部 医学検査学科2年
平田 一樹さん
福岡県八女学院高等学校出身

大学の付属病院や、公立、私立それぞれの医療現場などを見学しました。最も衝撃的だったのは、地域ごとの医療格差が大きく、病院によってはベッド数の不足により仕方なく担架や床に寝ている人が大勢いたことです。現地を知れば知るほど、日本の医療の質や技術の高さをあらためて実感できました。日本で学べることに感謝し、今後も知識や技術を確実に身につけていきたいです。

